

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

#5 priority
10/27/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application: 2000年 6月 5日

出 願 番 号

Application Number: 特願2000-167789

出 願 人

Applicant(s):

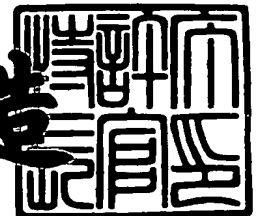
矢崎総業株式会社
トヨタ自動車株式会社



2001年 6月20日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3058053

【書類名】 特許願

【整理番号】 YZK-5138

【提出日】 平成12年 6月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H01M 2/30
H01R 11/12

【発明の名称】 バッテリターミナル

【請求項の数】 1

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県榛原郡榛原町布引原 2 0 6 - 1 矢崎部品株式会
社内

【氏名】 村上 孝夫

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県榛原郡榛原町布引原 2 0 6 - 1 矢崎部品株式会
社内

【氏名】 福田 優

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町 1 番地 トヨタ自動車株式会社内

【氏名】 伊藤 桂一

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町 1 番地 トヨタ自動車株式会社内

【氏名】 白木 和幸

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町 1 番地 トヨタ自動車株式会社内

【氏名】 涌井 雅徳

【特許出願人】

【識別番号】 000006895

【氏名又は名称】 矢崎総業株式会社

【代表者】 矢崎 裕彦

【特許出願人】

【識別番号】 000003207
【氏名又は名称】 トヨタ自動車株式会社
【代表者】 加藤 伸一

【代理人】

【識別番号】 100083806
【弁理士】
【氏名又は名称】 三好 秀和
【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342
【弁理士】
【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712
【弁理士】
【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365
【弁理士】
【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100079946
【弁理士】
【氏名又は名称】 横屋 赳夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929
【弁理士】
【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708734

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 バッテリターミナル

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 バッテリポストに嵌合するポスト嵌合部を一端側に備えると共に、他端側に電線側端子を接続するためのスタッドボルトの取付座を備えたターミナル本体と、該取付座に形成された貫通孔に貫通固定されたスタッドボルトと、前記ターミナル本体のポスト嵌合部とスタッドボルト取付座との間に回動自在に取り付けられ、起立状態からスタッドボルト側に回動操作されることにより、ポスト嵌合部をバッテリポストに圧着させる操作レバーとを具備するバッテリターミナルにおいて、

前記操作レバーに、該操作レバーの圧着方向の回動操作完了状態においてスタッドボルトの先端に螺合したナットとの干渉を避ける貫通孔を形成したことを特徴とするバッテリターミナル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車等に搭載されるバッテリーの電極(バッテリポスト)に接続されるバッテリターミナルに係り、特に、インパクトレンチ等の締め付け工具を用いることなく、操作レバー(カムレバー)の回動操作によって、ワンタッチでバッテリポストへの脱着が可能なバッテリターミナルに関する。

【0002】

【従来の技術】

操作レバーを回動させることによりバッテリポストへの脱着を可能にしたバッテリターミナルの例として、実開平 6 - 6 0 0 5 3 号公報に記載のものが知られている。

【0003】

図 6 は上記公報に記載のバッテリターミナルの構成を示す。このバッテリターミナル 3 0 は、ターミナル本体 3 1 にカムレバー(操作レバー) 3 2 を回動可能に取り付けたものであり、ターミナル本体 3 1 は、C 環状に湾曲形成されたポス

ト嵌合部 3 3 と、この C 環状のポスト嵌合部 3 3 の両端から平行に延びる一对の折返片 3 4, 3 5 とを備えている。一对の折返片 3 4, 3 5 には回動軸 3 6 が取り付けられ、この回動軸 3 6 にカムレバー 3 2 が回動可能に支持されている。そして、一方の折返片 3 4 に電線 W が接続されている。

【 0 0 0 4 】

図 7 (a) , (b) にて作用を説明すると、図 7 (a) に示すように、カムレバー 3 2 を起立させた状態では、カムレバー 3 2 のカム部 3 2 a が起き上がった状態となるため、バッテリーターミナル 3 0 のポスト嵌合部 3 3 の口径が大となる。従って、その状態で、ポスト嵌合部 3 3 をバッテリーポスト 4 0 に容易に嵌合することができる。

【 0 0 0 5 】

ポスト嵌合部 3 3 をバッテリーポスト 4 0 に嵌合したら、図 7 (b) に示すように、カムレバー 3 2 を一对の折返片 3 4, 3 5 側へ倒すことにより、カム部 3 2 a をバッテリーポスト 4 0 の周面に押圧させる。そうすると、カム部 3 2 a の押圧による反力で、バッテリーターミナル 3 0 のポスト嵌合部 3 3 の内周面が、バッテリーポスト 4 0 の周面に圧着される。その結果、ポスト嵌合部 3 3 の内周面とバッテリーポスト 4 0 の外周面の摩擦力によって、バッテリーターミナル 3 0 がバッテリーポスト 4 0 に電氣的及び機械的に接続される。

【 0 0 0 6 】

反対に、その状態からカムレバー 3 2 を起立させれば、カム部 3 2 a によるバッテリーポスト 4 0 への押圧力が解除されるため、ワンタッチでバッテリーターミナル 3 0 をバッテリーポスト 4 0 から取り外すことができる。

【 0 0 0 7 】

従って、このバッテリーターミナル 3 0 によれば、カムレバー 3 2 の起倒というワンタッチ操作で、バッテリーターミナル 3 0 をバッテリーポスト 4 0 に取り付けたり、バッテリーポスト 4 0 からバッテリーターミナル 3 0 を取り外したりすることが容易に行える。

【 0 0 0 8 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来のバッテリーターミナルでは、カムレバー 32 を電線接続側へ倒すことにより、バッテリーターミナルの取り付けを完了するようにしているが、圧着操作時にはカムレバー 32 が倒れてくるので、その近傍に邪魔なものを設置するのが難しかった。つまり、L A 端子を用いてバッテリーケーブルをバッテリーターミナルに接続したい場合であっても、L A 端子を接続するためのスタッドボルトを、その部分に取り付けるのが困難であった。もちろん、スタッドボルトを設置することは技術的にはできるが、そうすると、カムレバーを水平位置まで倒すことができなくなったりして、納まりが悪くなるおそれがあった。

【 0 0 0 9 】

本発明は、上記事情を考慮し、L A 端子を用いてバッテリーケーブルの接続を行いながら、操作完了時の納まりをコンパクトにすることができるバッテリーターミナルを提供することを目的とする。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 の発明は、バッテリーポストに嵌合するポスト嵌合部を一端側に備えると共に、他端側に電線側端子を接続するためのスタッドボルトの取付座を備えたターミナル本体と、該取付座に形成された貫通孔に貫通固定されたスタッドボルトと、前記ターミナル本体のポスト嵌合部とスタッドボルト取付座との間に回動自在に取り付けられ、起立状態からスタッドボルト側に回動操作されることにより、ポスト嵌合部をバッテリーポストに圧着させる操作レバーとを具備するバッテリーターミナルにおいて、前記操作レバーに、該操作レバーの圧着方向の回動操作完了状態においてスタッドボルトの先端に螺合したナットとの干渉を避ける貫通孔を形成したことを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

このバッテリーターミナルでは、操作レバーに、スタッドボルトの先端に締結したナットとの干渉を避ける目的の貫通孔を開けたので、スタッドボルトに L A 端子を用いて電線を結合しながら、スタッドボルト側に操作レバーを倒した状態において、バッテリーターミナルをコンパクトな形態に納めることができる。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。

【0013】

図1は実施形態のバッテリーターミナルとバッテリーポストと電線側端子との関係を示す分解斜視図、図2(a), (b)はバッテリーターミナルをバッテリーポストに単にセットした状態を示す平面図及び側断面図、図3(a), (b)は図2の状態から操作レバーを回動させてバッテリーターミナルのポスト嵌合部をバッテリーポストに対して圧着させた状態を示す平面図及び側断面図、図4は図3と同じ状態を示す斜視図、図5は図4のV-V矢視断面図である。尚、図2～図5では、電線側端子の図示を省略してある。

【0014】

この実施形態のバッテリーターミナル100は、スタッドボルト式のバッテリーポスト1に取り付けるためのものであり、バッテリーポスト1には、バッテリーターミナル100を取り付けるための円筒状のバッテリーポストアダプタ12が装着されている。

【0015】

バッテリーポストアダプタ12は、前記バッテリーポスト1の雄ネジ1aに螺合する雌ネジ12bを内周に有した筒状のバッテリーターミナル取付部12aと、その上端に一体に形成された六角部13とを有している。

【0016】

六角部13は、アダプタ締め付け用の工具（インパクトレンチ等）を嵌合する部分であり、この部分は、バッテリーターミナル抜け止め用の鍔部を兼ねている。従って、六角部13にインパクトレンチを嵌合することで、バッテリーポストアダプタ12をバッテリーポスト1に締着することができる。また、バッテリーターミナル100をバッテリーポストアダプタ12に圧着させた場合には、六角部13の鍔部としての機能により、バッテリーターミナル100を抜けないように止めることができる。そのために、六角部13の二面幅は、最低でも筒状のバッテリーターミナル取付部12aの外径よりも大きくなっている。

【0017】

ここでは、バッテリーポストアダプタ 1 2 を極力小型化するために、六角部 1 3 の二面幅は、筒状のバッテリーターミナル取付部 1 2 a の外径と同じか、それよりも僅かに大きい程度の寸法に設定されている。また、六角部 1 3 が鍔部を兼ねていることから、高さ方向の寸法のコンパクト化も図られている。

【 0 0 1 8 】

一方、バッテリーポストアダプタ 1 2 に電氣的に接続されるバッテリーターミナル 1 0 0 は、一枚の金属板をプレスで折り曲げて製作したターミナル本体 5 0 と、同じく一枚の金属板をプレスで折り曲げて製作した操作レバー（カムレバー） 6 0 と、回動軸 7 0 と、スタッドボルト 8 0 とから構成されている。

【 0 0 1 9 】

スタッドボルト 8 0 は、バッテリーケーブル W の端末に取り付けられた L A 端子 2 0 を、座金 2 3 とナット 2 5 を用いて、バッテリーターミナル 1 0 0 に取り付けられるようにするために設けられている。

【 0 0 2 0 】

ターミナル本体 5 0 は、一端側にバッテリーポストアダプタ 1 2 に外嵌する湾曲形状のポスト嵌合部 5 1 を備えると共に、他端側にバッテリーケーブル W の端末に取り付けた L A 端子 2 0 を接続するためのスタッドボルト 8 0 の取付座 5 3 を備えている。

【 0 0 2 1 】

このターミナル本体 5 0 は、一枚の帯状の金属板を厚さ方向に U 字状に折り曲げて前記ポスト嵌合部 5 1 を形成すると共に、U 字状に折り曲げた金属板の両端を操作レバー 6 0 を支持する 2 枚の側板 5 2， 5 2 として、該両側板 5 2， 5 2 の延長部分の側縁に略直角に延設した矩形片 5 5 a， 5 5 b をそれぞれ内側に折り曲げて互いに重合することで、前記スタッドボルトの取付座 5 3 を形成し、更に、該取付座 5 3 にスタッドボルトの貫通孔 5 6 を形成することで、一体のプレス製品として構成されている。

【 0 0 2 2 】

この場合、2 枚の側板 5 2， 5 2 は、U 字状のポスト嵌合部 5 1 の両端の延長方向に平行に延びており、両側板 5 2， 5 2 間の間隔は、ポスト嵌合部 5 1 の径

と等しく設定されている。

【 0 0 2 3 】

そして、ポスト嵌合部 5 1 とスタッドボルト取付座 5 3 を連絡する 2 枚の側板 5 2, 5 2 の間に、操作レバー 6 0 の基部が挿入されている。

【 0 0 2 4 】

操作レバー 6 0 は、略矩形の天板 6 1 と、天板 6 1 の前端両側縁に連設された一対の略円形の側板 6 2, 6 2 と、天板 6 1 の前端に延設された湾曲状の板バネ 6 5 とを備えている。

【 0 0 2 5 】

天板 6 1 の中央部には、操作レバー 6 0 をスタッドボルト取付座 5 3 の上に倒したとき、後述するスタッドボルト 8 0 に締結したナット 2 5 との干渉を避けるための貫通孔 6 4 が形成されている。また、天板 6 1 の左右両側縁には、補強のために下方に折れ曲がったリブ 6 3, 6 3 が設けられている。

【 0 0 2 6 】

側板 6 2, 6 2 は、ターミナル本体 5 0 の両側板 5 2, 5 2 の間に嵌まる幅に形成されており、これらの側板 6 2, 6 2 に貫通させた回動軸 7 0 の両端を、ターミナル本体 5 0 の両側板 5 2, 5 2 の軸孔 5 4 に支持することで、操作レバー 6 0 が、上下方向に回動自在にターミナル本体 5 0 に取り付けられている。

【 0 0 2 7 】

尚、回動軸 7 0 は、錨状の頭部 7 1 から、操作レバー 6 0 の側板 6 2, 6 2 を貫通する胴部 7 2 を延ばし、その先端に細径軸部 7 3 を形成したもので、先端の細径軸部 7 3 を片方の側板 5 2 の軸孔 5 4 に固着することで、抜けないように止められている。

【 0 0 2 8 】

天板 6 1 の前端に延設された板バネ（弾性押圧手段） 6 5 は、略円弧状の輪郭に湾曲させられることで、バッテリポストアダプタ 1 2 の周面に弾性的に押圧するカム部 6 6 を構成している。このカム部 6 6 は、図 2（b），図 3（b）に示すように、回動軸 7 0 の中心から、その外周面（カム面）までの距離（半径）を滑らかに変化させたもので、図 2（b）に示すように、操作レバー 6 0 を起立さ

せた状態では、最小径部がポスト嵌合部 51 側に向き、図 3 (b) に示すように、操作レバー 60 を 90 度スタッドボルト取付座 53 側に倒した状態では、最大径部がポスト嵌合部 51 側に向くように、その曲面（カム面）のカーブが設定されている。

【0029】

そして、図 2 (b) に示すように、最大径部における半径 R_2 が、ポスト嵌合部 51 をバッテリーポストアダプタ 12 に嵌合したときの回動軸 70 の中心からバッテリーポストアダプタ 12 の外周までの最大距離 R_1 よりも大きく設定され、図 3 (b) に示すように操作レバー 60 を倒して、半径 R_2 の最大径部でバッテリーポストアダプタ 12 の外周面を適正に押圧したとき、カム部 66 を構成する板バネ 65 に所定の変形代 δ_2 (=ラップ代) が生じるようになっている。尚、図 3 (b) は、変形代 δ_2 の存在を示すために、板バネ 65 を変形していない状態で示してある。

【0030】

板バネ 65 は、カム部 66 の周面に沿って配設されており、板バネ 65 の周方向の基端部（一端）65a が天板 61 とつながっていることで固定支点として支持され、T 字形に形成された先端部（他端）65b が側板 62 に単に係止されていることで、回転支点として支持されている。そして、板バネ 65 の周方向（長さ方向）の中心位置が最大径部となるように、カム部 66 の輪郭が定められている。尚、板バネ 65 は、側板 62、62 と切り離されており、側板 62、62 に拘束されずに自由に撓み変形できるようになっている。

【0031】

また、スタッドボルト 80 は、スタッドボルト取付座 53 に下面側から上に向けて差し込まれている。スタッドボルト 80 は、矩形板状の頭部 81 と、ネジ軸部 82 とを備えており、ネジ軸部 82 の先端 83 が、LA 端子 20 やナット 25 を嵌合するため若干細径に形成されている。

【0032】

そして、このように下から上に向けて挿入された上で、スタッドボルト 80 の矩形の頭部 81 が、スタッドボルト取付座 53 の下側の側板 52、52 間の空間

に嵌まって回り止めされている。また、その状態で、スタッドボルト取付座 5 3 を構成する矩形板 5 5 b に形成した爪部 5 8 を折り曲げることにより、スタッドボルト 8 0 の頭部 8 1 が係止されており、それにより、スタッドボルト 8 0 が下方へ抜け落ちないように止められている。

【 0 0 3 3 】

次に作用を説明する。

【 0 0 3 4 】

このバッテリターミナル 1 0 0 にバッテリケーブル W を接続するには、図 1 に示すように、ターミナル本体 5 0 の端部に上向きに突き出したスタッドボルト 8 0 に、バッテリケーブル W の端末に取り付けた L A 端子 2 0 を嵌め込み、座金 2 3 を介してナット 2 5 をスタッドボルト 8 0 のネジ軸部 8 2 に締結することで行う。

【 0 0 3 5 】

バッテリターミナル 1 0 0 は、バッテリポスト 1 に取り付ける前には、図 2 に示すように、操作レバー 6 0 が起立した位置にある。この状態では、カム部 6 6 の最小径部がポスト嵌合部 5 1 側に向いているので、ポスト嵌合部 5 1 の口径が大きく確保されている。従って、容易にバッテリターミナル 1 0 0 のポスト嵌合部 5 1 を、バッテリポストアダプタ 1 2 に外嵌させることができる。

【 0 0 3 6 】

ポスト嵌合部 5 1 をバッテリポストアダプタ 1 2 に外嵌させたら、この状態で操作レバー 6 0 を 9 0 度回動させ、図 3 ～図 5 に示すように、スタッドボルト取付座 5 3 の上に倒す。操作レバー 6 0 を倒すと、操作レバー 6 0 のカム部 6 6 の最大径部がバッテリポストアダプタ 1 2 の外周面に押圧接触する。そして、その押圧反力で、ポスト嵌合部 5 1 の内周面がバッテリポストアダプタ 1 2 のバッテリターミナル取付部 1 2 a の外周に圧着し、バッテリターミナル 1 0 0 とバッテリポスト 1 の電氣的及び機械的な接続が達成される。この状態で、バッテリポストアダプタ 1 2 の上端には鰐部を兼ねた六角部 1 3 があるので、バッテリターミナル 1 0 0 が抜けることはない。

【 0 0 3 7 】

また、操作レバー 60 の天板 61 にはナット 25 との干渉を避けるための貫通孔 64 があるので、図 4 に示すように、操作レバー 60 は、スタッドボルト取付座 53 の上に重なる位置まで倒し込むことができ、圧着完了状態において、バッテリーターミナル 100 を極力コンパクトな形態にすることができる。

【0038】

この状態から、バッテリーターミナル 100 を取り外す場合には、操作レバー 60 を図 2 の状態まで起立させる。そうすると、カム部 66 による押圧が解除されて、ポスト嵌合部 51 の口径が広がり、バッテリーターミナル 100 を簡単にバッテリーポストアダプタ 12 から取り外すことができる。

【0039】

また、この実施形態のバッテリーターミナル 100 によれば、次のような種々の効果を得ることができる。

【0040】

まず、このバッテリーターミナル 100 では、カム部 66 を板バネ 65 によって構成しているので、カム部 66 をバッテリーポストアダプタ 12 に押圧させた際のラップ代 82 を、板バネ 65 の弾性変形によって吸収することができる。

【0041】

従って、操作レバー 60 を回動操作する際の力が小さくてすむ上、無理な力がバッテリーポストアダプタ 12 の周面やバッテリーターミナル 100 に加わらないようにすることができる。その結果、バッテリーポストアダプタ 12 やバッテリーターミナル 100 の変形を防止することができる。また、弾性力によってカム部 66 のバッテリーポストアダプタ 12 に対する押圧接触力が決まるので、接触荷重が安定し、接続信頼性が向上する。

【0042】

また、カム部 66 をバッテリーポストアダプタ 12 に弾性接触させるための手段として、他の部位にバネを取り付けることも可能であるが、上記のバッテリーターミナル 100 では、カム部 66 自体を板バネ 65 で構成しているので、構成を簡単にすることができる。

【0043】

しかも、カム部66を構成する板バネ65の片端（先端部65b）を回転支点により支持しているため、板バネ65が一層曲げ変形しやすくなり、バッテリーポストアダプタ12に対する良好な弾性接触作用を果たすことができる。

【0044】

また、このバッテリーターミナル100では、ターミナル本体50を構成する金属板を、帯板の側縁に矩形片55a、55bを形成したコ字形の展開形状にすることができる。そして、矩形片55a、55bを両側から内側に折り曲げて重合させることで、スタッドボルトの取付座53を構成しているため、十分な強度を保持しながら矩形片55a、55bの突出長さを短く設定することができる。従って、展開形状コ字形の金属板の寸法を小さくすることができ、板取り寸法の縮小により、歩留まりの向上が図れる。

【0045】

また、ターミナル本体50において、スタッドボルトの取付座53とポスト嵌合部51をつなぐ部分が、ポスト嵌合部51と同じ幅の2枚の縦長の側板52、52によって構成されているため、その部分の断面二次モーメントと断面係数が増加し、上下方向の曲げ剛性や左右方向の曲げ剛性が高まり、高い強度のバッテリーターミナルとなる。

【0046】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項1の発明によれば、操作レバーに、スタッドボルトの先端に締結したナットとの干渉を避ける目的の貫通孔を開けたため、スタッドボルトに対しナットを用いてLA端子を結合しながら、スタッドボルト側に操作レバーを倒した状態において、バッテリーターミナルをコンパクトな形態に納めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施形態のバッテリーターミナルとバッテリーポストと電線側端子との関係を示す分解斜視図である。

【図2】

(a), (b) は前記バッテリーターミナルをバッテリーポストに単にセットした状態を示す平面図及び側断面図である。

【図 3】

(a), (b) は前記バッテリーターミナルの操作レバーを回動させてポスト嵌合部をバッテリーポストに対して圧着させた状態を示す平面図及び側断面図である。

【図 4】

図 3 と同じ状態を示す斜視図である。

【図 5】

図 4 の V - V 矢視断面図である。

【図 6】

従来のバッテリーターミナルの一例を示す斜視図である。

【図 7】

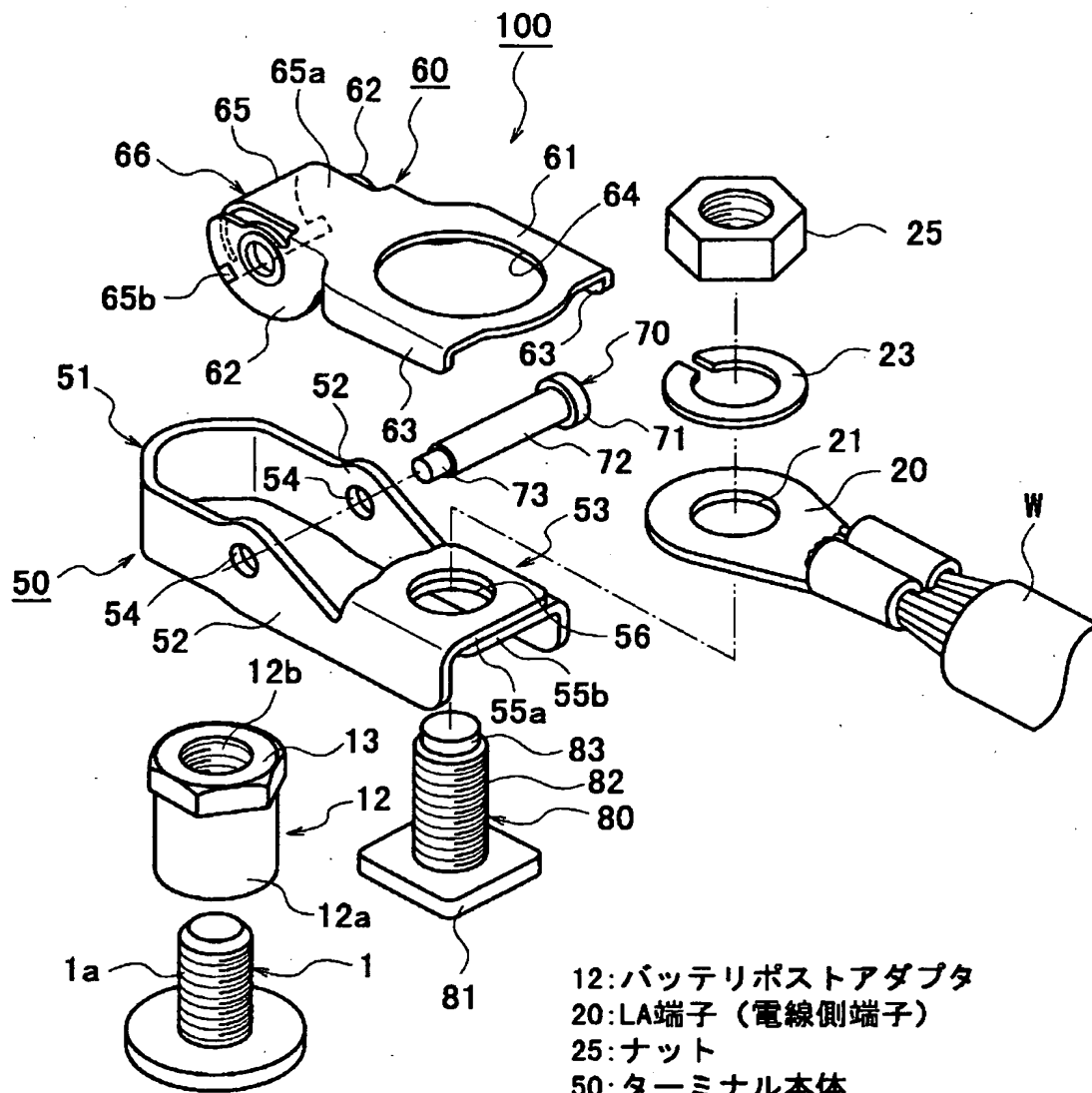
(a) はバッテリーターミナルをバッテリーポストに単にセットした状態を示す側断面図、(b) はその状態からカムレバーを倒してバッテリーターミナルをバッテリーポストに圧着させた状態を示す側断面図である。

【符号の説明】

- 1 バッテリーポスト
- 1 2 バッテリーポストアダプタ
- 2 0 LA 端子 (電線側端子)
- 2 5 ナット
- 5 0 ターミナル本体
- 5 1 ポスト嵌合部
- 5 3 スタッドボルト取付座
- 5 6 貫通孔
- 6 0 操作レバー
- 6 4 貫通孔
- 8 0 スタッドボルト
- 1 0 0 バッテリーターミナル

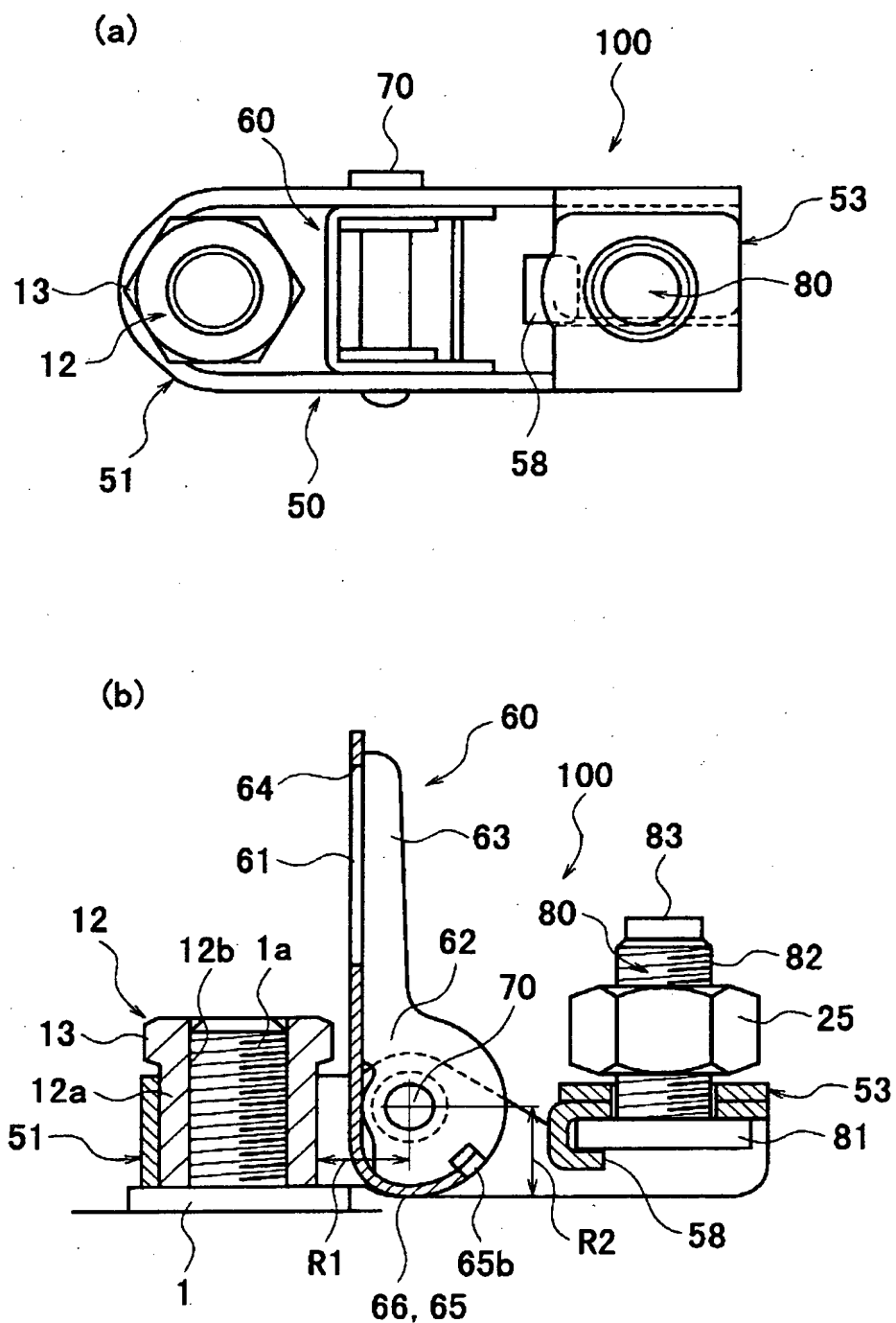
【書類名】 図面

【図 1】

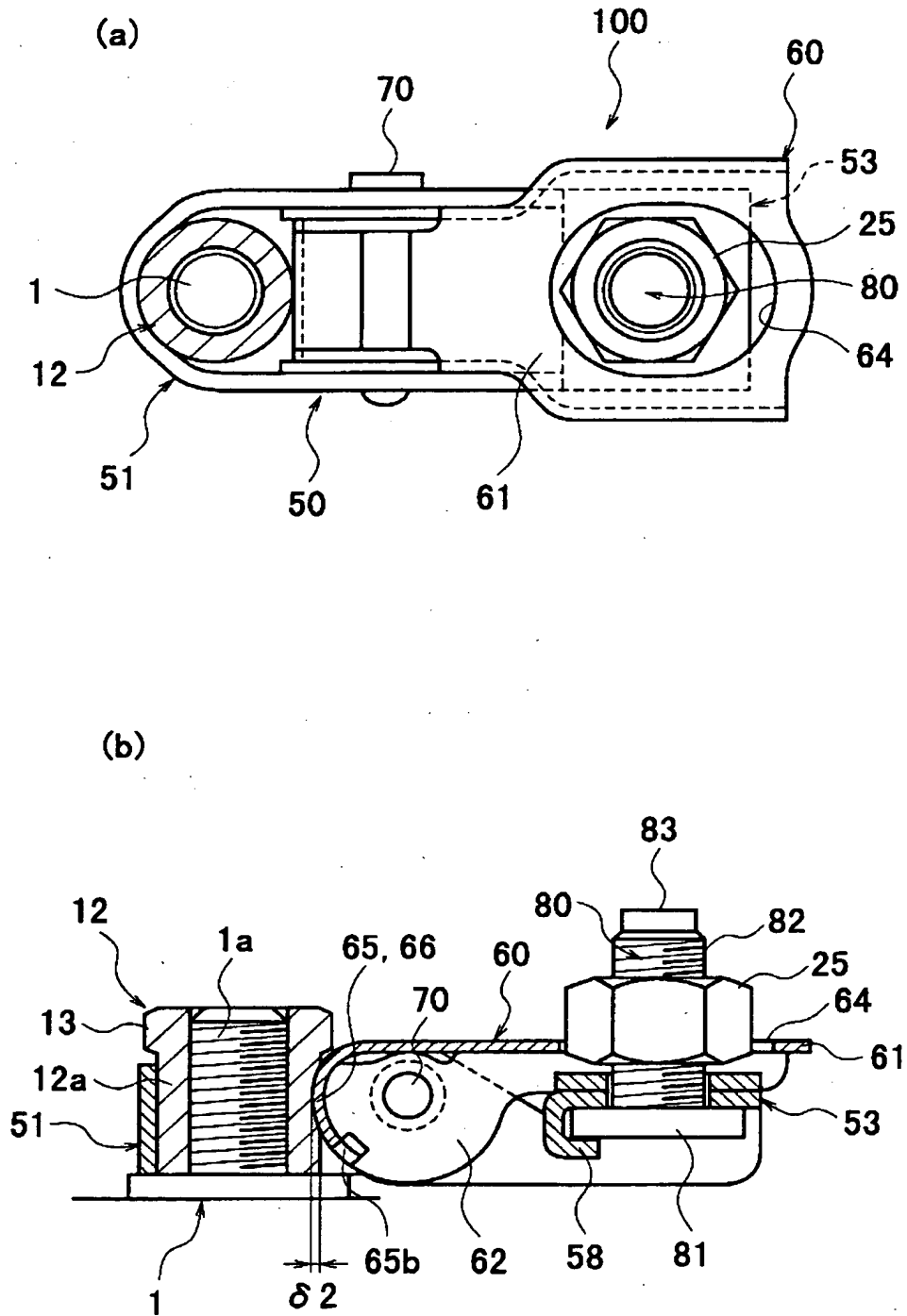


- 12: バッテリポストアダプタ
- 20: LA端子 (電線側端子)
- 25: ナット
- 50: ターミナル本体
- 51: ポスト嵌合部
- 53: スタッドボルト取付座
- 60: 操作レバー
- 64: 貫通孔
- 80: スタッドボルト
- 100: バッテリターミナル

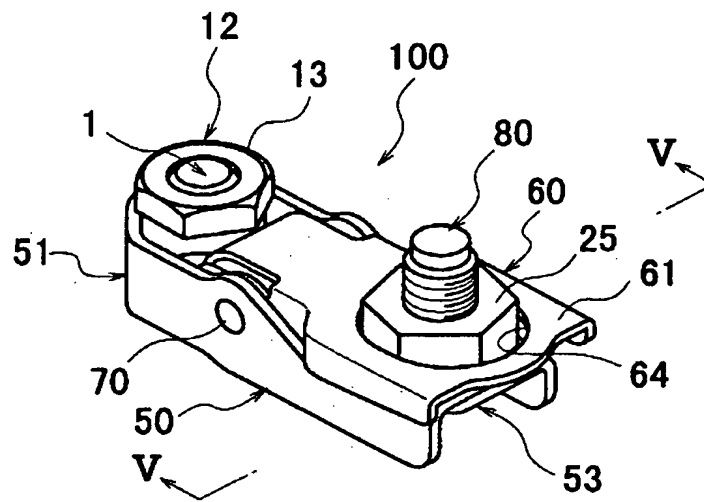
【図 2】



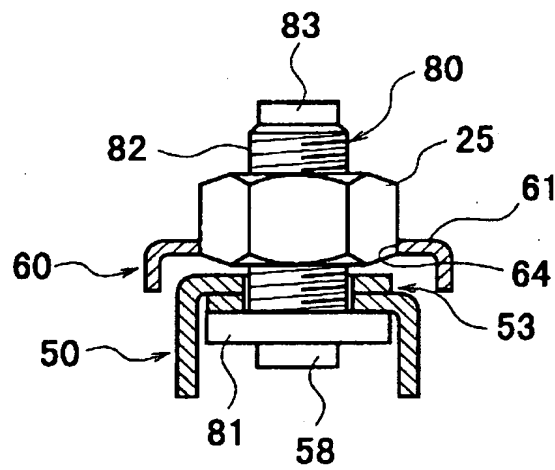
【図 3】



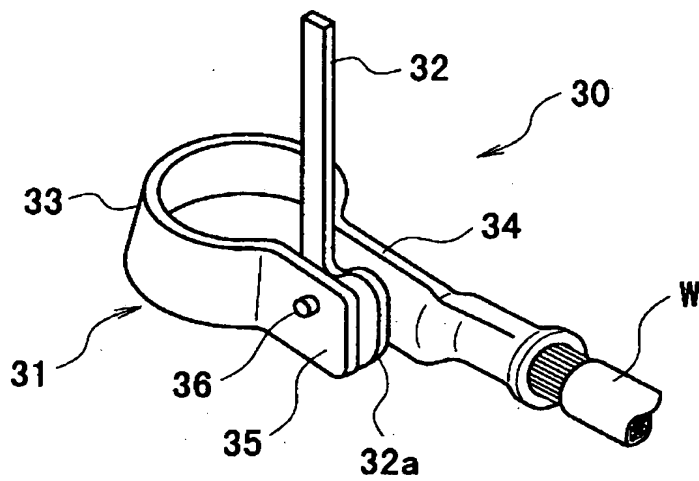
【図 4】



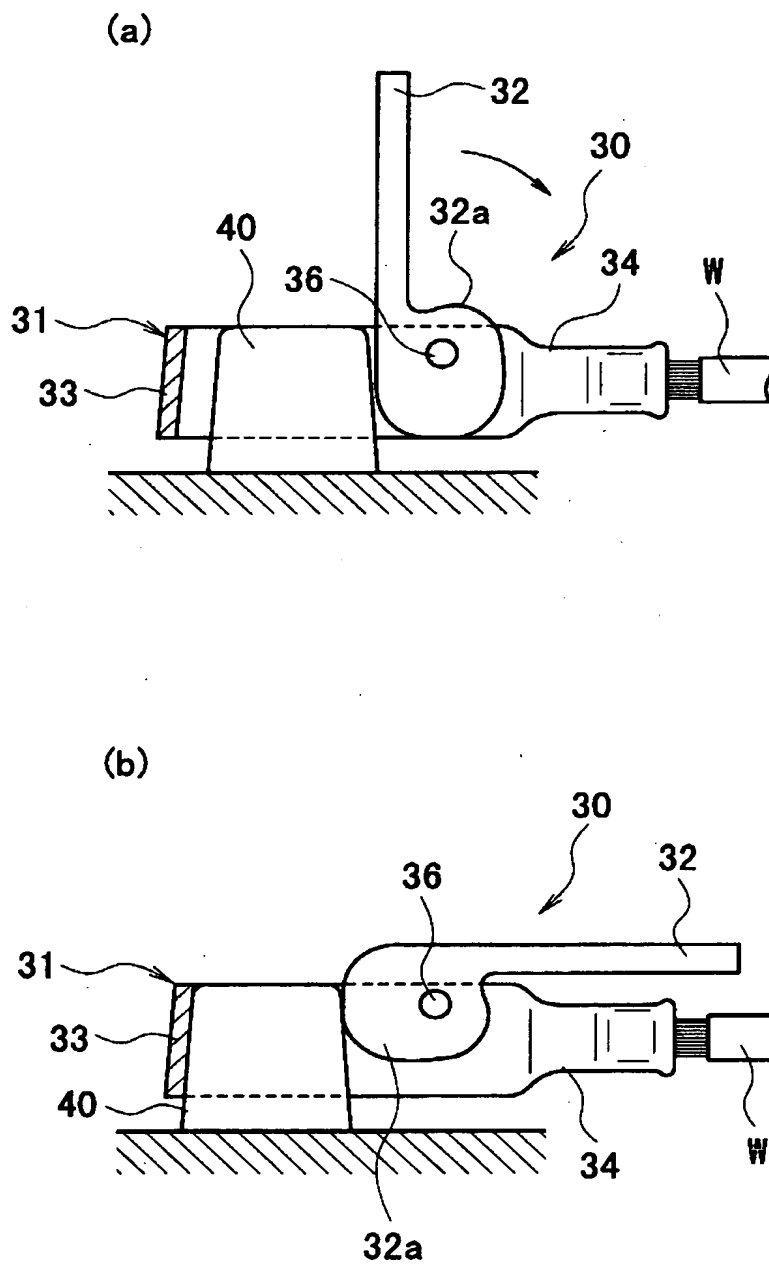
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 L A 端子を用いてバッテリーケーブルの接続を行いながら、操作完了時の操作レバーの納まりをコンパクトにする。

【解決手段】 バッテリーポストアダプタ 1 2 に嵌合するポスト嵌合部 5 1 を一端側に備えると共に、他端側に L A 端子 2 0 を接続するためのスタッドボルト 8 0 の取付座 5 3 を備えたターミナル本体 5 0 と、スタッドボルト 8 0 と、ターミナル本体 5 0 のポスト嵌合部 5 1 とスタッドボルト取付座 5 3 との間に回動自在に取り付けられた操作レバー 6 0 とを具備するバッテリーターミナル 1 0 0 において、操作レバー 6 0 に、該操作レバー 6 0 の圧着方向の回動操作完了状態においてスタッドボルト 8 0 の先端に螺合したナット 2 5 との干渉を避ける貫通孔 6 4 を形成した。

【選択図】 図 1

特2000-167789

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006895]

1. 変更年月日 1990年 9月 6日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区三田1丁目4番28号
氏 名 矢崎総業株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003207]

1. 変更年月日 1990年 8月27日
[変更理由] 新規登録
住 所 愛知県豊田市トヨタ町1番地
氏 名 トヨタ自動車株式会社